

環境調査結果のお知らせ

平成30年12月25日10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は15.1~18.2℃で、前回調査時(H30.11.26)と比較して全層で0.8~2.0℃下降していました。

塩分は28.4~32.0で、前回調査時と比較して表層で0.2下降し、1m層から底層で0.4~0.7上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は6.8~7.4mg/lで、前回調査時と比較して表層及び2m層から底層で0.2~0.4mg/l増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は3.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.11.26)	
		今回調査	差(今回-前回)
0m	15.1	17.1	▲ 2.0
1m	16.4	17.2	▲ 0.8
2m	18.0	19.2	▲ 1.2
B-1	18.2	19.5	▲ 1.3

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.11.26)	
		今回調査	差(今回-前回)
0m	28.4	28.6	▲ 0.2
1m	29.3	28.8	0.5
2m	31.6	30.9	0.7
B-1	32.0	31.6	0.4

表3 溶存酸素量(mg/l)

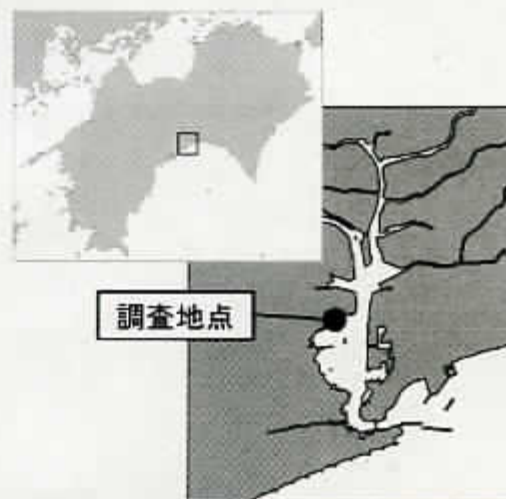
測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.11.26)	
		今回調査	差(今回-前回)
0m	7.4	7.2	0.2
1m	7.1	7.1	0.0
2m	6.9	6.7	0.2
B-1	6.8	6.4	0.4

表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.8	3.6
透明度	3.0	2.6

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アガシオ	フロロセントラム・トリエステナム	アガシオ・サンガイネア	ジャイロティニウム属	珪藻類
0	0	0	0	0	10
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0



漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アガシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>